

市第113号議案 令和2年度横浜市一般会計予算等の組み替えを
求める動議

「市第113号議案 令和2年度横浜市一般会計予算」等について、市長は、別紙要領により速やかに組み替えを行い、再提出することを要求する。

令和2年3月24日提出

横浜市会議員

| | | |
|---------|---------|---------|
| 荒 木 由美子 | 岩 崎 ひろし | 宇佐美 さやか |
| 大 貫 憲 夫 | 河 治 民 夫 | 北 谷 まり |
| 白 井 正 子 | 古 谷 靖 彦 | み わ 智恵美 |

(別紙)

1 組み替えを求める理由

2020年度予算案は、大多数の市民が反対する I R カジノ誘致、その実現性が不透明な大劇場、テーマパーク進出を既成事実化した上瀬谷通信施設跡地再開発などに巨費を投じ、その一方で、国民健康保険料の値上げなど市民負担増に加えて、中学校給食の実施や少人数学級拡大、市営住宅建設など切実な市民要望には応えきれていない。地方自治体の本来の役割「住民福祉の機関」「住民自治の組織」を発揮しているとは到底言えない。

新型コロナウイルス感染症の緊急対策が後手に回らないように財政的な措置もまったなしである。

市長は、2020年度予算案を撤回し、以下の趣旨に沿って、編成替えを行うことである。

2 組み替えの基本方針

I R カジノ誘致、不要不急の大型公共事業などを凍結・中止し、その財源を新型コロナウイルス感染症の緊急対策を初め、市民の暮らしを守り、教育を充実するための事業・施策に振り向ける。

また、国民健康保険事業費会計予算を組み替え、保険料引き上げを中止する。

3 組み替えの内容

以下の 1) のとおり、不要不急の大型公共事業等の凍結・中止等で新たな財源を生み出し、2) のとおり、新型コロナウイルス感染症の緊急対策の実施、貧困対策の拡充と高齢者施策、教育の充実を図る。また、3) 4) 5) のとおり、特別会計の予算を組み替え、国民健康保険料の引き上げを止め、特定企業に便宜を図る開発事業等とカジノ誘致のための基盤整備、リニア新幹線建設発生土受け入れを休止する。

1) 不要不急の大型公共事業等の見直し等で捻出する一般財源、市債

- ① I R 等検討費全額カット 一般財源 3.8 億円
- ② 海外視察費・費用弁償全額カット 一般財源 0.4 億円
- ③ 新たな劇場計画検討費の全額カット 一般財源 2 億円

④桜木町駅新改札口設置事業費の半額カット 一般財源3.5億円

⑤上瀬谷通信施設地区関連事業化検討費の全額カット 一般財源7.1億円、市債3億円

⑥上瀬谷通信施設地区事業化検討費の全額カット 一般財源10億円

⑦横浜市道路建設事業団への財政支援のうち補助を10億円、資産購入を20億円それぞれカット 一般財源30億円

以上のとおり、捻出した一般財源56.8億円、市債3億円を以下の2)のとおり、振り向ける。

2) 新型コロナウイルス感染症の緊急対策、貧困対策の拡充、市民負担軽減と高齢者施策と教育の充実を図る。

(ア) 新型コロナウイルスの影響から市民の暮らし・営業を守るための緊急対策
(PCR検査体制拡充、医療機関支援、学童保育・保育園への財政支援、小規模事業者生業支援、市税・国民健康保険料の減免など) 一般財源30億円

(イ) 就学援助認定基準を2013年度基準に戻し、拡充(認定者数増4000人) 一般財源2.6億円

(ウ) 低所得世帯向けの高校育英資金制度の創設(高校1年生年間12万円×1500人) 一般財源1.8億円

(エ) 中学校給食実施に向け設計費計上(自校方式61校、親子方式21校) 一般財源5.8億円

(オ) 35人学級を小学校新3年生で実施 一般財源7.8億円

(カ) 国民健康保険料の引き下げ 一般財源8.8億円

(キ) 市営住宅の直接建設 市債3億円

3) 国民健康保険事業費会計予算のうち、歳入のうち国民健康保険料を15.7億円減額、一般会計繰入金の8.8億円増額、基金繰入額6.9億円とする。これによって、平均国民健康保険料が前年度並みとなる。

4) 市街地開発事業費歳入歳出予算から旧上瀬谷通信施設地区事業費10.2億円、東高島駅北地区事業費3.5億円、横浜駅きた西口鶴屋地区事業費4.7億円を削除する。

5) 港湾整備事業費歳入歳出予算から山下ふ頭用地等事業費全額66.7億円、新本牧ふ頭整備費202.1億円、新本牧ふ頭整備費負担金25.6億円を削除する。

市第113号議案 令和2年度横浜市一般会計予算に対する修正の動議

「市第113号議案 令和2年度横浜市一般会計予算」に対する修正案を別紙のとおり提出する。

令和2年3月24日提出

横浜市会議員

| | | |
|--------|-------|-------|
| 有村俊彦 | 大岩真善和 | 大野トモイ |
| 大山しょうじ | 荻原隆宏 | 梶尾明 |
| 今野典人 | 田中ゆき | 中山大輔 |
| 長谷川えつこ | 花上喜代志 | ふじい芳明 |
| 藤崎浩太郎 | 麓理恵 | 望月高德 |
| 森ひろたか | 谷田部孝一 | 山浦英太 |

(別紙)

令和2年度横浜市一般会計予算案に対する修正案

令和2年度横浜市一般会計予算案の一部を次のように修正する。

第1条第1項中「1,740,016,406千円」を「1,739,996,406千円」に改める。

第1表 歳入歳出予算の歳入の表中

| | | |
|----------|---------------|------------|
| 24 諸 収 入 | | 72,519,753 |
| | 1 延滞金、加算金及び過料 | 394,171 |
| | 2 市 預 金 利 子 | 2,000 |
| | 3 貸付金元利収入 | 47,832,751 |
| | 4 収 益 事 業 収 入 | 10,000,000 |
| | 5 雑 入 | 14,290,831 |

を

| | | |
|----------|---------------|------------|
| 24 諸 収 入 | | 72,499,753 |
| | 1 延滞金、加算金及び過料 | 394,171 |
| | 2 市 預 金 利 子 | 2,000 |
| | 3 貸付金元利収入 | 47,832,751 |
| | 4 収 益 事 業 収 入 | 10,000,000 |
| | 5 雑 入 | 14,270,831 |

に、

| | |
|---------|---------------|
| 歳 入 合 計 | 1,740,016,406 |
|---------|---------------|

を

「

| | |
|---------|---------------|
| 歳 入 合 計 | 1,739,996,406 |
|---------|---------------|

に改め、第1表 歳入歳出予算の歳出の表中

「

| | | |
|--------------|-------------|------------|
| 11 都 市 整 備 費 | | 19,194,927 |
| | 1 都 市 整 備 費 | 19,194,927 |

を

「

| | | |
|--------------|-------------|------------|
| 11 都 市 整 備 費 | | 18,794,927 |
| | 1 都 市 整 備 費 | 18,794,927 |

に、

「

| | | |
|----------|---------|---------------|
| 18 予 備 費 | | 1,000,000 |
| | 1 予 備 費 | 1,000,000 |
| 歳 出 合 計 | | 1,740,016,406 |

を

「

| | | |
|----------|---------|---------------|
| 18 予 備 費 | | 1,380,000 |
| | 1 予 備 費 | 1,380,000 |
| 歳 出 合 計 | | 1,739,996,406 |

に改める。